

分類	実施内容		実施主体		実施期間										備考
	施策名	対策量	機関	担当課	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	
①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	a 沼川新放水路(仮称)の整備	L=2.3km	静岡県	沼津土木事務所沼川新放水路整備課											ハード
	b 高橋川の河道拡幅	L=485m	静岡県	沼津土木事務所沼川新放水路整備課											ハード
	c 高橋川の堤防強化	L=400m	静岡県	沼津土木事務所沼川新放水路整備課											ハード
	d 沼川第2放水路の河道掘削及び護岸強化	L=400m	静岡県	沼津土木事務所沼川新放水路整備課											ハード
	e 雁作川河道整備	L=102m	沼津市	建設部河川課											ハード
	f 青野排水機場の排水能力の増強	N=1基	沼津市	建設部河川課											ハード
	g 東部前川排水系統の見直し・整備	L=200m	沼津市	建設部河川課											ハード
	h (都)金岡浮島線整備に伴う排水系統の見直しの検討	—	静岡県 沼津市	沼津土木事務所関係各課 建設部河川課、建設部道路管理課											
	i 下水道メニューにおける浸水対策の検討及び実施	—	沼津市	水道部下水道整備課 建設部河川課											ハード
	j 井戸川雨水貯留池の整備	N=1基	沼津市	建設部河川課											ハード
	k 狩野川西部浄化センター調整池の整備	V=27,800m3	静岡県	沼津土木事務所下水道課											ハード
	l 砂防堰堤への雨水貯留機能の付加	N=1基	静岡県	沼津土木事務所工事第1課											ハード
	m 市営今沢団地建替における雨水貯留施設の整備	契約後検討	沼津市	建設部住宅営繕課											ハード
	n 水田貯留(田んぼダム)の可能性検証	—	静岡県 沼津市	東部農林事務所農村整備課 産業振興部農林農地課											
	o 流域内道路の歩道舗装(透水性舗装)(県道三島富士線BPなど)	新設又は更新に応じて	静岡県 沼津市	沼津土木事務所関係各課 建設部道路建設課											ハード
	p 開発許可に伴う調整池設置基準の見直しの検討	—	沼津市	都市計画部まちづくり指導課 建設部河川課											
	q 沼川第2放水路の維持管理(トンネル部)	—	静岡県	沼津土木事務所沼川新放水路整備課											ハード・ソフト
	r 前川排水機場の長寿命化及び自動化	N=1基	沼津市	建設部河川課											ハード
	s 流域内の排水機場の更新及び長寿命化	N=16基	沼津市	建設部河川課											ハード
	t 河川バトによる土砂堆積状況等の把握と適切な維持管理(高橋川など)	—	静岡県 沼津市	沼津土木事務所関係各課 建設部河川課											ハード・ソフト
u 西添町排水ポンプの増設	N=1基	沼津市	建設部河川課											ハード	
v 新たな対策の掘り起こしの検討	—	—	本協議会構成員を含む流域内のあらゆる関係者												
					これから実施するものすでに実施しているもの										
					これから検討・計画するものすでに検討を始めているもの										

分類	実施内容		実施主体		実施期間										備考	
	施策名	対策量	機関	担当課	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14		
②被害対象を減少させるための対策	a	立地適正化計画に定める防災指針の位置づけと施策の見直し	—	沼津市	都市計画部まちづくり政策課											ソフト
	b	雨水浸透施設・雨水貯留施設設置費補助金制度の普及促進	—	沼津市	建設部河川課											ソフト
	c	沼川流域整備計画の改定に向けた検討	—	静岡県 沼津市	河川企画課ほか関係各課 建設部河川課ほか関係各課											
	d	新たな対策の掘り起こしの検討	—	—	本協議会構成員を含む流域内のあらゆる関係者											
					これから実施するもの すでに実施しているもの											
					これから検討・計画するもの すでに検討を始めているもの											

分類	実施内容		実施主体		実施期間										備考
	施策名	対策量	機関	担当課	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	
③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	a 雨水出水浸水想定区域の指定及び内水ハザードマップの作成	—	沼津市	建設部河川課 水道部下水道整備課											ソフト
	b 土砂災害警戒区域標識等の設置	N=25基程度	静岡県	沼津土木事務所企画検査課											ソフト
	c 避難行動や被害軽減行動を促すための情報配信事業	—	沼津市	危機管理課											ソフト
	d 住民が主体的な避難行動につなげるためのマイ・タイムラインの普及	—	沼津市	危機管理課											ソフト
	e ポンプ車、排水ユニットの導入・運用	ポンプ車 N=1台 ユニット N=2台	沼津市	建設部河川課											ソフト
	f 土のうステーションの拡充・運営	N=4箇所	沼津市	建設部河川課											ソフト
	g 洪水浸水想定区域の指定（その他区間）及びハザードマップの更新	—	静岡県 沼津市	土木防災課 危機管理課											ソフト
	h LP測量を活用した土砂災害警戒区域の新規指定箇所の抽出	—	静岡県	沼津土木事務所企画検査課											ソフト
	i 市町との連携による河川監視カメラの設置	N=2基	静岡県	沼津土木事務所維持調査課											ソフト
	j 浸水センサの設置による広域的な浸水域情報の提供	N=17基	沼津市	建設部河川課 建設部道路管理課											ソフト
	k 新たな対策の掘り起こしの検討	—	—	本協議会構成員を含む流域内のあらゆる関係者											
					これから実施するもの すでに実施しているもの										
					これから検討・計画するもの すでに検討を始めているもの										

西添町排水ポンプの増設

施策名(追加) ①-u 西添町排水ポンプの増設

計画平面図

位置図 S=1:5,000(1:10,000)



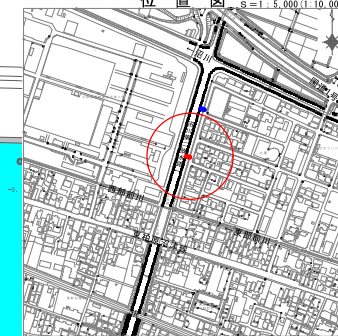
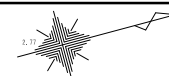
沼津市西添町地先

737.400

沼川第二放水路



S=1:100
(S=1:200)



市道20117号線

詳細図

S=1:50
(S=1:100)

横断面図

S=1:100
(S=1:200)

沼津市道 県管理区域

No. 2+13.0

No. 2

749.55
GH=-0.42
FH=-0.452

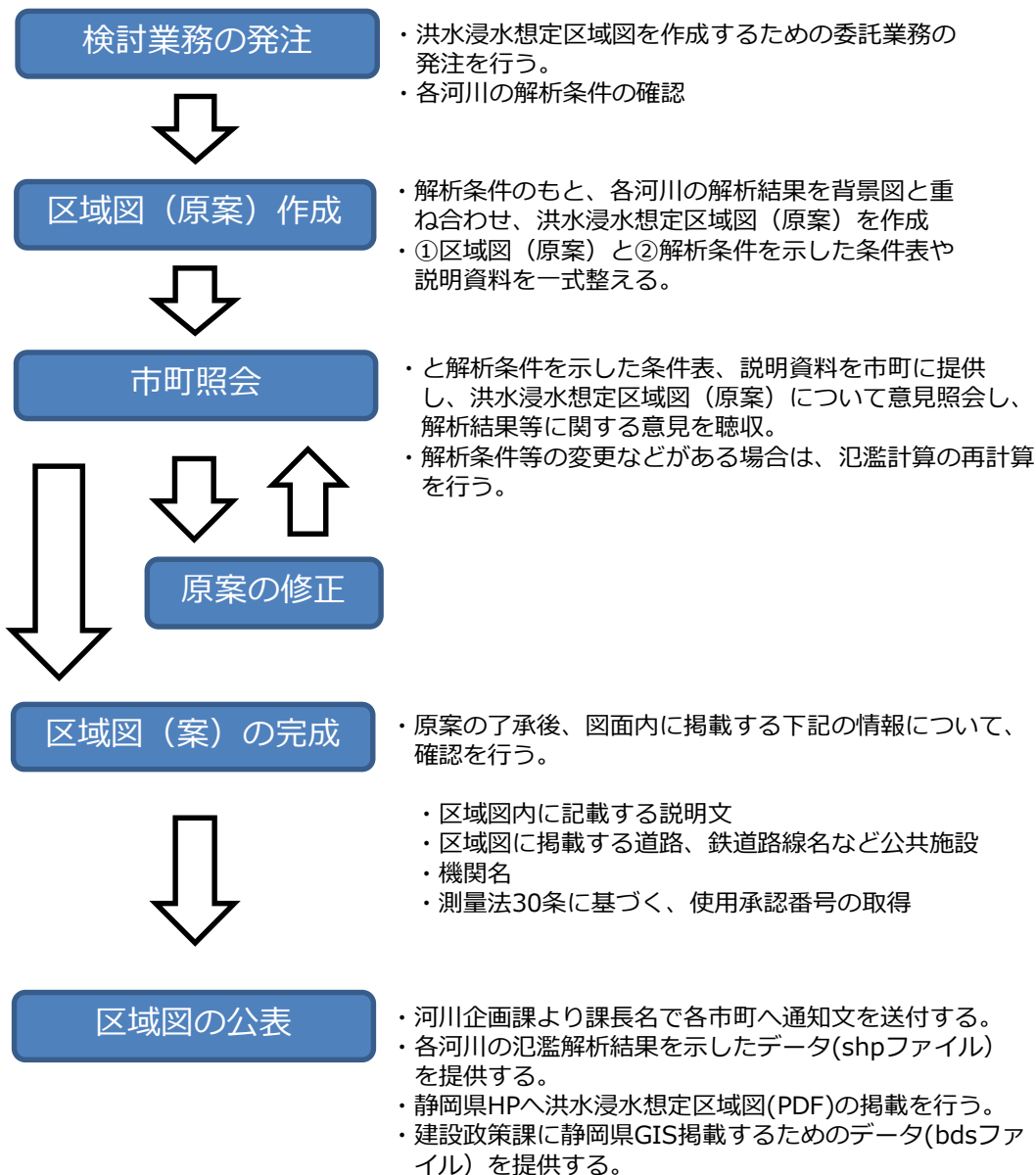
No. 1

No. 1

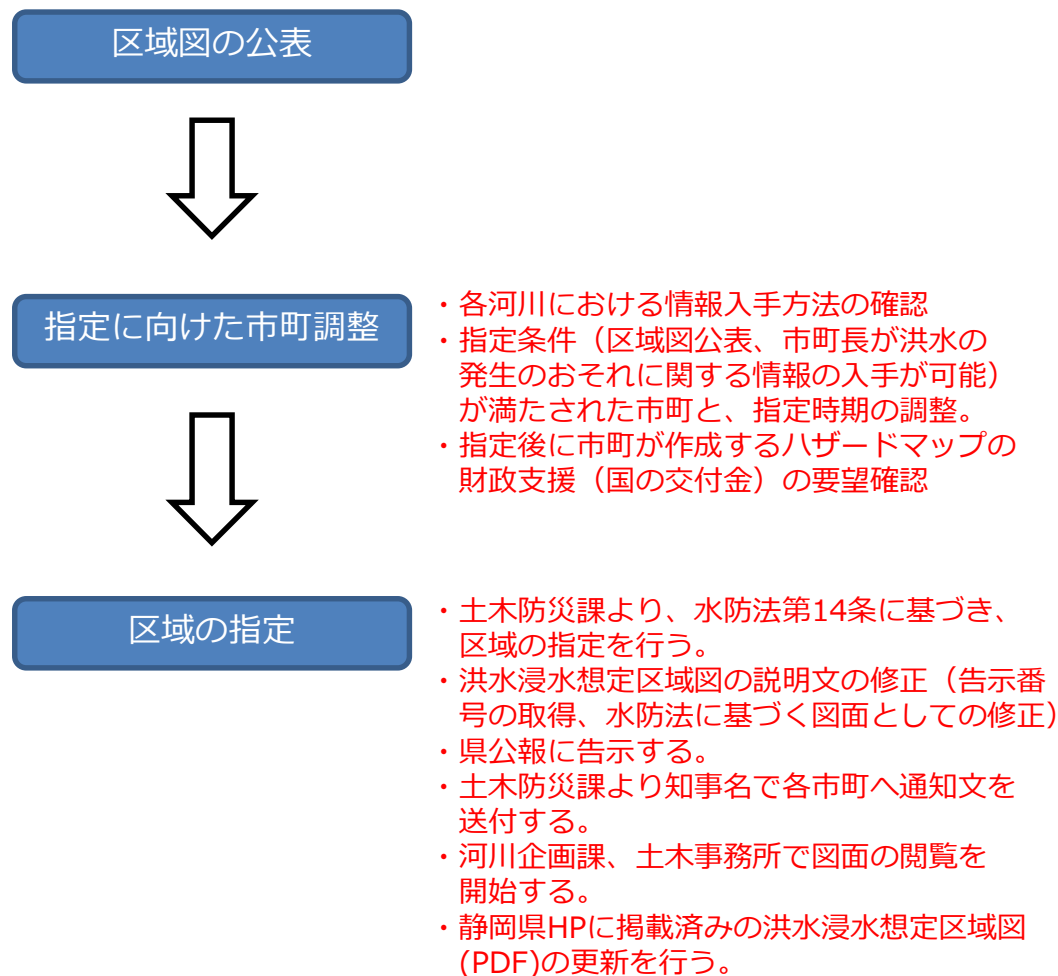
※10/24指定河川以外のその他河川における洪水等浸水想定区域の指定に関する説明会資料抜粋

施策名(追加) ③-g 洪水浸水想定区域の指定(その他区間)及びハザードマップの更新

洪水浸水想定区域図の公表までのフロー



洪水浸水想定区域の指定までのフロー

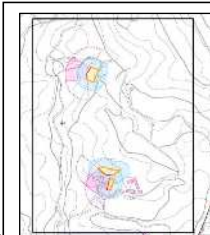


【市町】地域防災計画に必要事項記載、洪水ハザードマップ作成・住民等周知

施策名(追加) ③-h LP測量を活用した土砂災害警戒区域の新規箇所の抽出

土砂災害警戒区域等の候補箇所数（沼津土木管内）

	土石流	急傾斜	計
沼津市	51	246	297
三島市	10	109	119
御殿場市	12	142	154
裾野市	19	103	122
伊豆市	157	285	442
伊豆の国市	33	121	154
函南町	23	119	142
清水町	0	11	11
長泉町	3	32	35
小山町	21	143	164
合計	329	0	0



※急傾斜地の場合は、1つの
枠を1箇所としているため、
枠内に複数の斜面が含まれ
ている場合がある。

【旧4市町ごとの候補箇所数】

	急傾斜	土石流
修善寺	84	48
中伊豆	98	44
天城湯ヶ島	73	58
土肥	30	7

優先順位決めの流れ

1

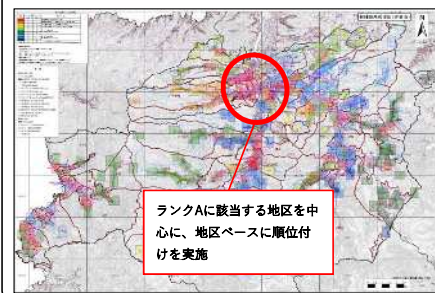
バッファーを含む区域（赤枠）と①～④が重なるのか
データ処理を行い、優先順位をランクAに設定する。
※要配慮・避難所などの場合は、A-2に分類した。
※要配慮者利用施設や避難所（③、④）は敷地をデータ
処理で取りこぼす可能性があるため、目視でも確認。



バッファー含む赤枠内
に避難所が入っている
ため、ランクAに分類。

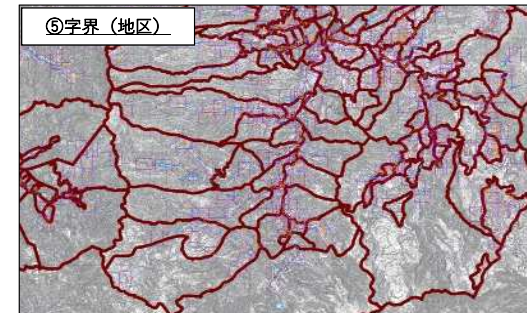
2

ランクAと⑤をベースに地区ごと（20～40程度の箇所別になる
ように）に順位付けを行う。
ランクA-1を中心に地区とその地区に含まれる候補箇所数を
考慮してランク分けを行った。



ランクAに該当する地区を中
心に、地区ベースに順位付
けを実施

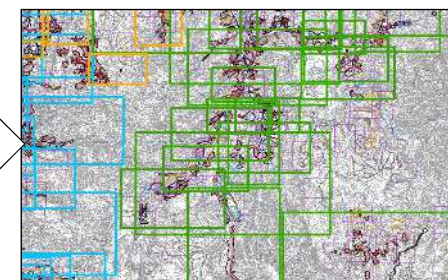
順位決めに使用した資料



(参考) ハザードマップ



作成



伊豆市優先順位

順位	箇所計															基準とした内容	
	急傾斜（左：箇所数※枠数、右：斜面単元数）										土石流						
	合計		修善寺		中伊豆		天城湯ヶ島		土肥		合計	修善寺	中伊豆	天城湯ヶ島	土肥		
A-1	23		247	21	103	11	58	13	45	7	41	2					居住誘導区域、用途地域が含まれる箇所（A-2の基準を含むケースも有り）
A-2	29											4	4	0	0	2	要配慮者利用施設もしくは避難所が含まれる箇所
B	18	53	18	53	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	ランクA周辺の地区（ランクAが密集している地区）
C	25	96	6	24	1	3	18	69	0	0	0	12	0	0	12	0	ランクA周辺の地区（ランクAがあるが、点在している地区）
D-1	35	136	21	87	13	47	1	2	0	0	0	32	24	7	1	0	ランクA～B周辺の地区 同一優先度の地区を3つに分割
D-2	34	95	0	0	0	0	16	54	18	41	26	0	0	0	22	4	
D-3	33	146	0	0	33	146	0	0	0	0	20	0	20	0	0	0	
E-1	29	99	4	17	20	70	0	0	5	12	17	7	9	0	0	1	ランクC～D周辺の地区 同一優先度の地区を3つに分割
E-2	42	133	14	36	14	56	14	41	0	0	12	3	0	0	9	0	
E-3	17	49	0	0	6	12	11	37	0	0	22	0	8	14	0	0	
合計	285	1054	84	320	98	392	73	248	30	94	157	48	44	58	7		

【R5河川監視カメラ設置位置図】



【令和5年6月2~3日台風2号__浸水等状況】

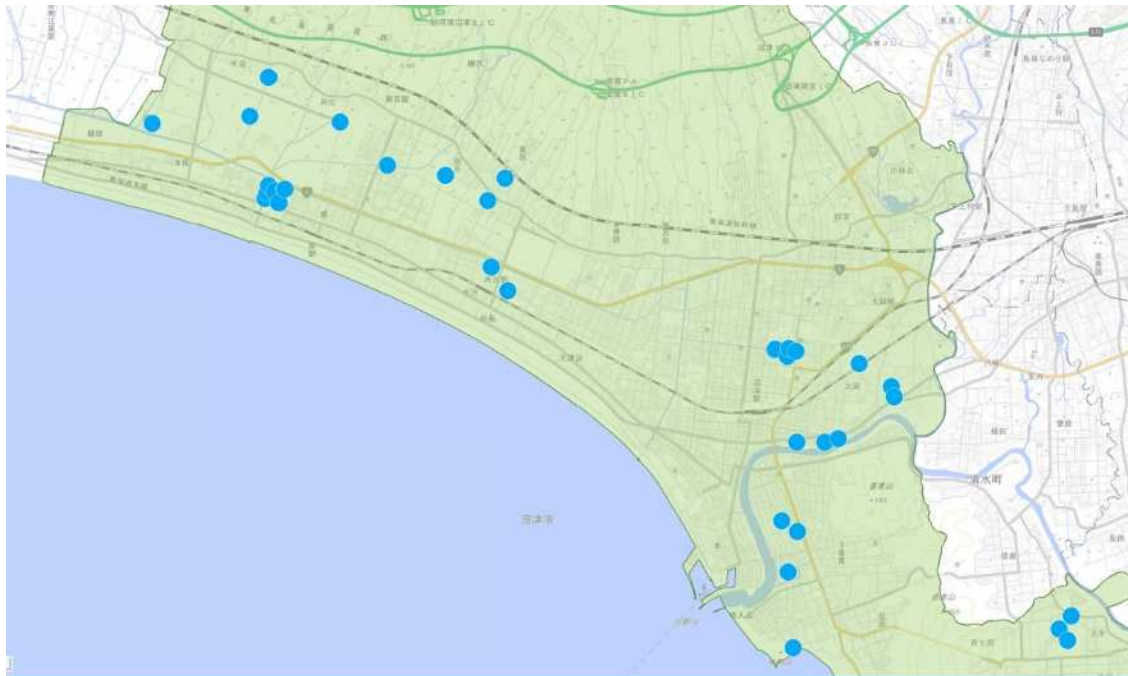
施策名(追加) ③-j 浸水センサの設置による広域的な浸水域情報の提供 ワンコイン浸水センサ実証実験について

【概要】

国土交通省では、浸水の危険性がある地域にワンコイン浸水センサを設置し、リアルタイムに浸水状況を把握する実証実験を実施しており、本市も採択をうけ、令和6年度より実証実験に参加している。

市内にワンコイン浸水センサを 36 箇所(河川課 25 箇所 道路管理課 11 箇所)設置した。ワンコイン浸水センサの設置により、現地を踏査することなく、河川や道路の浸水状況をシステム上で自動的かつ早期に確認することが可能となり、排水機場の運転や道路の通行止めなど、災害対応や地域住民への情報発信を行っている。

【市内設置箇所】



※沼川(高橋川)流域で 17 箇所設置

(浸水センサ)



(浸水センサシステム画面)

